

白鷹町商工会

令和元年度 経営発達支援事業

事業報告資料

「経営発達支援計画」 事業報告

I 経営発達支援事業の内容

1. 「地域の経済動向調査」に関すること

【課題】

情報活用されるまでの伴走型支援が必要であり、情報整理と事業者自身で情報を得ることができるように公開していく

【調査内容】

□町内及び県内の経済動向の集計、町内事業所へのアンケート調査については平成29年に調査し、紙ベースで事務所に報告書設置。HPで概要版公開済。

□データ整備と公開の流れと時期

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 各種統計調査データ収集 | (4月) |
| (2) 町内景況調査 | (4月、7月、10月、1月) |
| (3) データの分析 | (4月、7月、10月、1月) |
| (4) 集計表の提供とHP更新 | (4月、7月、10月、1月) |

【30年度実績】

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 各種統計調査データ収集 | 各機関から発行される調査結果の収集 |
| (2) 町内景況調査 | 町内15事業所に対し景況調査実施 |
| (3) データの分析 | 県内商工会による景況調査をまとめ、分析 |
| (4) 集計表の提供とHP更新 | 年4回発行される会報に掲載のほか、HP掲載 |

データ整備の目標数値	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
各種統計調査データ収集	1回	1回	1回	1回	1回	1回
町内景況調査	4回	4回	4回	4回	4回	4回
データの分析	4回	4回	4回	4回	4回	4回
集計表の提供とHP更新	4回	2回	会報4回 HP1回	4回	会報4回 HP1回	4回

景況調査分析結果と報告様式

県内統一景況調査報告【令和元年7～9月期】

【調査対象】 調査対象：山形県内商工会連合の企業（原則として1商工会あたりは企業）
調査時点：令和元年9月1日 調査方法：商工会経営者等による企業への訪問ヒアリング調査
※D.I.とは、デフュージョン・インデックス（景況動向指数）の略で、以下により算出しております。
D.I.＝【各項目の増減（上昇・増幅）企業割合（%）】－【各項目の減少（低下・縮小）企業割合（%）】



I 経営発達支援事業の内容

2. 「経営状況の分析」に関すること

【課題】

小規模事業者は事業計画作成の基礎となる環境分析が十分にできない場合が多いため商工会として自社の強み・弱み・ビジネスモデルの認識作業を支援すること。

【実施内容】

- ①巡回・窓口相談による現状聞き取り
- ②経営分析セミナー開催による個別データ分析
- ③金融相談を通じての財務状況分析を入口とした実態把握
- ④個人の決算・確定申告の相談での実態把握
- ⑤専門家派遣事業を通じての実態把握

実態把握の手段	28年度	29年度	30年度	元年度		32年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
巡回相談件数	720件	840件	615件	720件	824件	720件
経営分析件数	60件	40件	27件	60件	29件	60件
経営分析セミナー	1回	2回	1回	2回	3回	2回
同上参加者数	15人	7人	17人	30人	45人	30人
金融相談による分析	35件	12件	11件	40件	13件	45件
申告相談による分析	75件	70件	72件	75件	57件	75件
専門家相談	35件	31件	33件	35件	16件	35件

備考 経営分析件数・・・H30補正持続化補助金申請支援数 等
経営分析セミナー・・・財務・税務分析セミナー、個別相談会 等
金融相談分析・・・マル経融資7件、その他融資4件

経営分析セミナーの様子



I 経営発達支援事業の内容

3. 「事業計画策定支援」に関すること

【課題】

日々の経営に迫られ、事業計画策定が困難な小規模事業者が、成り行き経営から計画的な経営へシフトしていくこと

【実施内容】

2. 「経営状況の分析」を踏まえ、下記セミナーへの参加を促進する

- ①事業計画作成セミナー
- ②上記セミナー受講者に対し、事業計画作成にかかる個別相談会
- ③経営革新塾
- ④創業セミナー（主催：やまがたチャレンジ創業応援センター）
- ⑤事業承継計画策定支援

上記セミナー受講後、巡回等により伴走して支援を行う。

内容	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
事業計画作成セミナー (参加者数)	2回 (40名)	2回 (17名)	1回 (22名)	2回 (40名)	2回 (18名)	2回 (40名)
個別相談会(上記のフォロー)	20名	7名	12名	20名	9名	20名
経営革新計画セミナー(全6講座) (参加者数)	1回 (5名)	1回 (7名)	1回 (6名)	1回 (5名)	1回 (6名)	1回 (5名)
(経営革新申請数)	(1件)	(0件)	(0件)	(1件)	(0件)	(1件)
創業セミナー (参加者数)	1回 (3名)	0回 (0名)	0回 (0名)	1回 (3名)	1回 (1名)	1回 (3名)
(創業計画作成者数)	(0名)	(0名)	(0名)	(1名)	(1名)	(1名)
事業計画作成件数	22件	29件	27件	22件	29件	22件

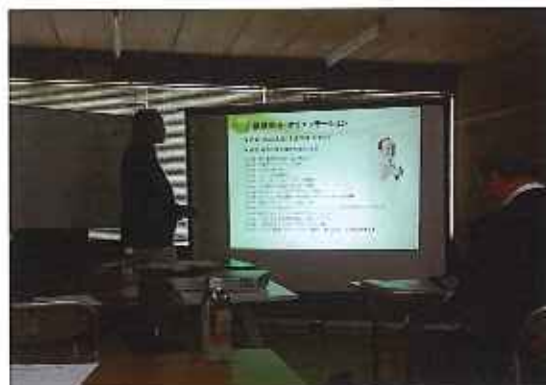
備考

事業計画作成セミナー・・・対象者：商品開発セミナー受講者

経営革新セミナー・・・広域連携協議会開催

事業計画作成件数・・・事業承継を視野に入れたH30補正持続化補助金申請者数

経営革新計画セミナーの様子



I 経営発達支援事業の内容

4. 「事業計画策定後の実施支援」に関すること

【課題】

進捗状況管理が難しい小規模事業者に対し、支援機関と連携して一層の伴走型支援を実施し、PDCAサイクルによる軌道修正が必要である。

【実施内容】

- ①定期巡回によるPDCAサイクルによる事業計画の見直し
- ②専門家派遣制度を活用したフォローアップ
- ③個別の状況に応じたフォローアップ
- ④事業計画策定事業所の一覧作成による進捗状況の確認

内容	28年度	29年度	30年度	元年度		2年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
専門家派遣制度の活用	22件	29件	27件	22件	29件	22件
巡回フォロー	88件	409件	401件	352件	631件	440件
(事業計画策定数×4回)	22件×4	72件×5.6	87件×4.6	88件×4	100件×6.3	110件×4

備考 専門家派遣制度の活用・・・H30補正持続化補助金申請者に対して
巡回フォロー一件数・・・策定数＝前年度＋3 1年度新規事業計画策定数
回数：4月～12月の巡回実績

↓ 一覧表作成し、進捗状況の確認

事業者番号	進捗状況	NO	担当	事業所名	総事業費	補助金額	代表者名	担当者名	取組内容
<p>情報保護のため、非公表</p>									

I 経営発達支援事業の内容

5. 「需要動向調査」に関すること

【課題】

激しく変動する外部環境の中、町内の多くの小規模事業者は長年ほとんど変わらないことのない経営を続けている現状であり、商工会として小規模事業者が市場変化に対応した経営ができるように支援する。

【実施内容】

- ①おおた工業フェア時におけるアンケート調査
- ②広域連携地域（白鷹・小国・飯豊・長井）事業「産直フェア」時のアンケート調査
- ③上記ヒアリング内容の情報提供し、新商品開発・新規顧客への掘り起こしに活用

内容	28年度	29年度	30年度	31年度		32年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
工業フェア調査の提供事業者数	6社	8社	6社	8社	7社	8社
道の駅・産直所アンケート調査の提供事業者数	20社	4社	5社	20社	4社	20社
市場動向に関する情報提供	26社	12社	11社	28社	11社	28社

□おおた工業フェア

今年度の参加企業数は7社となった（例年5～6社）
地元企業の優先的な参加という形になり、希望しても参加が叶わない状況であった。

□産直フェア

白鷹・飯豊・小国・長井の各道の駅で地理的につながる形での開催となった。



おおた工業フェア



長井・西置賜産直フェア

I 経営発達支援事業の内容

6. 「新たな需要の開拓に寄与する事業」に関すること

【課題】

小規模事業者の新たな販路開拓や商圏拡大を支援するため、現在の取組みを拡充する事業を実施する

【実施内容】

①白鷹町受注拡大支援事業等を活用した販路拡大促進
工業分野

- (1) 商談会・展示会に対する支援
- (2) おおた工業フェア（工業展・商談会）の参加
- (3) 武蔵野エリア産業フェスタへの参加
- (4) ビジネスネット白鷹交流会の開催

商業分野

- (5) 職員による販売拠点開拓
- (6) おおた商いフェア（2日間）出店
- (7) ハッピーロード大山商店街イベント出店

②IT活用した新規需要の開拓

ITを活用した販路開拓講習会の開催、ページの構築支援

参考

□令和元年度より白鷹町受注拡大支援事業が開始

各商談会・展示会に対し、企業に対する旅費・負担金の補助や職員出張による受注拡大支援を行う。

□おおた工業フェア

受注企業・発注企業が集う工業フェア。

毎年町内企業が受注企業として5～6社が出展。商工会職員による出展支援と当日のブース運営を主体となって実施する。

□ハッピーロード大山商店街（2日間×2回）

11月と2月に出店した（4企業×2回）

2月には新規の出店者も加わり、初の冬季出店を試みた。

大山商店街は買回品中心であるため、商品・価格内容は普段の生活に沿ったものが好まれる。



ビジネスネット白鷹交流会



ハッピーロード大山商店街出店

内容	28年度	29年度	30年度	元年度		32年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
受注マッチング（工業）	3件	5件	2件	3件	2件	3件
おおた工業フェア参加企業数	6社	6社	6社	8社	7社	8社
〃 商談成立	6件	-	-	5件	-	8件
武蔵野産業フェスタ参加企業数	-	-	-	5社	-	5社
〃 商談成立	-	-	-	5社	-	5社
ビジネスネット参加企業数	6社	-	10社	5社	16社	8社
〃 招待企業数	-	-	1社	5社	3社	5社
〃 商談成立	-	-	1件	5件	-	5件
内容	28年度	29年度	30年度	元年度		32年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
受注マッチング（商業）	2件	2件	1件	2件	-	2件
おおた商いフェア出店数	3社	2社	2社	3社	2社	3社
〃 販売額	90万円	30万円	33万円	120万円	36万円	120万円
〃 電子商取引支援	3件	2件	2件	3件	1件	3件
ハッピーロード大山出店数	5件	5社	4社	15件	8件	15件
〃 イベント開催	1回	1回	1回	3回	2回	3回
〃 販売額	100万円	63万円	68万円	360万円	114万円	360万円
〃 委託販売商品	-	-	-	3品	-	5品
内容	28年度	29年度	30年度	元年度		32年度
	目標	実績	実績	目標	実績	目標
SNS講習会開催	1回	-	1回	1回	1回	1回
参加者数	10名	-	18名	20名	13名	20名
専門家派遣事業	5件	4件	1件	10件	1件	10件
SNSページの構築	5件	3件	1件	10件	1件	10件
電子商取引件数	5件	3件	2件	10件	1件	10件

II 地域経済の活性化に資する取組

【観光推進事業】

観光資源の充実と情報発信力の向上により、誘客拡大を目指す。

【実施内容】

四季折々の特色を活かした商品開発とブランド化の支援

①商品開発

「6. 新たな需要の開拓に寄与する事業」に記載した展示販売会を活用し、町内観光拠点と連携した市場投入により、売れる商品づくりを目指す。

②ブランド化と販回り創出

白鷹町特有の素材による商品開発により、付加価値の向上を図る。

※連携先・・・白鷹町産業振興戦略会議の参加団体

年度	行動目標
28年度	春の古典桜、夏の紅花、秋の鮎、冬の蕎麦と紅花に由来する「紅(あか)」の活用を図るための資源を発掘
29年度実績	町内イベントでの販売等を経て町内9事業所より10品目を開発。商品発表会を実施し、各店舗で販売開始。今後は販売チャネルの増加に取り組む。
30年度実績	昨年度開発した10品目を町内外のイベント等にて展示販売。専用HPを作成するなど販売チャネルの増加を図った。今後は商品のブラッシュアップ、新商品開発とともにさらに販路開拓を図る。
元年度計画	商品開発を実施。試作完成品から町内・外イベントへ出品
元年度実績	「紅の商品」を拡充し、町内企業の既商品をラインナップに加える。町作成のパンフレットに掲載。
2年度計画	完成品を5品目開発。販売プロモーション活動実施。

令和元年度実績

イベント販売

販売チャネル拡大

紅花まつり、産業フェア、ハッピーロード大山商店街、道の駅米沢 他
白鷹・長井・山形の道の駅や産直市場、パレス松風、荒砥駅、HP 他
各種講習会、個別相談会の開催

年間販売額

総額約560万円（商工会員のみ計上）



Ⅲ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の方法交換に関すること

下記取組みにより情報交換と人的ネットワークの構築を図る。

① 概要的理解から具体的理解への情報交換

支援事例紹介の機会を利用し、具体的な支援策の理解へと質の向上を図る

- ・山形県商工会連合会が主催する支援事例発表会（年1回） → 4名参加
- ・西置賜地区商工会広域連携協議会が開催する経営指導推進会議（月1回）
→ 令和元年度13回参加 延べ39名参加
- ・金融機関、よろず支援拠点、置賜地区の商工会議所との個別事例情報交換
→ 随時実施

② 個別案件の情報交換

- ・各支援機関が実施している施策情報を一括ファイリング → 実施

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

下記取組みにより職員の資質向上と知識の共有、組織指導力を向上させる。

① 記帳・税務指導等の従来経営指導に必要な能力向上

- ・経営支援員等研修（山形県商工会連合会主催・年1回） → 2名参加
- ・決算説明講習会（長井税務署主催・年1回） → 1名参加
- ・税務講習会（白鷹町青中会主催・年1回） → 2名参加
- ・消費税軽減税率対策事業（白鷹町商工会主催・年1回） → 2名参加

② 小規模事業者の利益の確保に資する支援ノウハウの習得 主に経営指導員が研修会参加による資質向上を継続する。

- ・経営指導員研修（山形県商工会連合会主催・年1回） → 2名参加
- ・専門スタッフ研修（山形県商工会連合会主催・年1回） → 1名参加
- ・WEB研修（全国商工会連合会で運営するネット研修） → 3名受講

③ 支援ノウハウの共有

項目	内容	H28	H29	H30	R1	R2
OJTでの資質向上	複数体勢での経営指導		実施	実施	実施	
	専門家指導への同行の徹底		実施	実施	実施	
データ共有	経営支援システム		実施	実施	実施	
	小規模企業経営支援情報システム		実施	実施	実施	
紙媒体	個別ファイル(紙ベース)の活用		実施	実施	実施	
広域連携	経営指導推進会議の開催		実施	実施	実施	
支援ノウハウの蓄積	支援施策情報のファイリング		実施	実施	実施	
	計画策定ひな型の整備		実施	実施	実施	

以上により支援力と組織指導力の向上を図った

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること。

年1回（毎年3月）に以下の通り事業の評価・検証を行い、PDCAサイクルの構築を図る。
※平成29年に「毎年9月に検証」を「毎年3月事業終了時に検証」に見直し案策定

